



宮城 寛諄 議員

社会保障制度の改悪を許すな

問 わが国の社会保障は、予算の削減や制度改悪が連続的に行われている。その結果、医療、介護、保育などで危機的な状況が生まれている。安倍政権は一層の切り捨てと改悪を進めようとしている。

70～74歳の医療費窓口負担を1割から2割にする、年金額の削減、生活保護の切り捨てなどが検討されている。消費税は社会保障の充実をうたい文句にしているが、内容は国民にとって改悪と言わざるを得ない。

さらに、要介護3以上の重点化を提起して、軽度者を介護保険の対象から外すことも検討されている。このような改革をどう思うか。

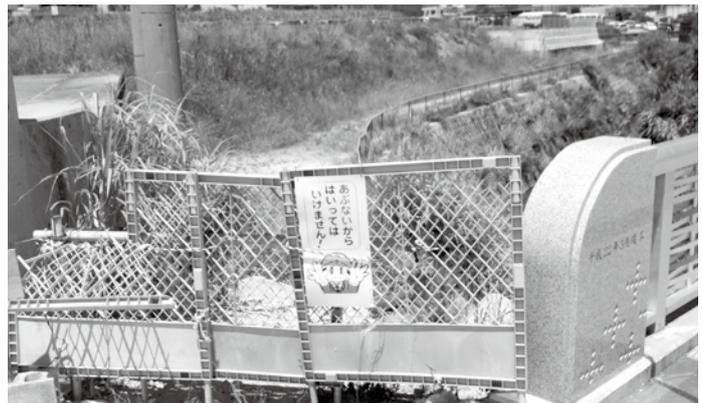
町長 国の改革案は審議中で、現時点で答えることはできない。議員が指摘するような政府案もあるため、今後どうなるかも含めて注視していきたい。

問 国の決定後に動くのではなく、国民から「改悪反対」の声を上げることが大事だと思う。社会保障制度を改悪させてはならないと声を上げるべきではないか。

町長 町民へ今以上の負担をかけないようなくみにするよう声を上げていくことが大事だと思う。

宮平川管理道路の整備を

問 現在の兼城交番向かい、宮平川下流に向かってアパーと橋の欄干との間が狭隘になっている。整備して、河川の管理ができるようにしてほしい。平成23年9月議会でも質問したが、河川整備の進捗を問う。また、宮平川せせらぎ計画があったが、整備が必要ではないか。



入口が狭く、整備を求める宮平川管理道路

経済建設部長 平成25年度に調査設計を入れると県から回答を得ている。この調査設計の段階で確認していきたい。せせらぎ計画については、現時点で計画はない。

こんな質問もしました

・選挙公約を守る候補者の支持を